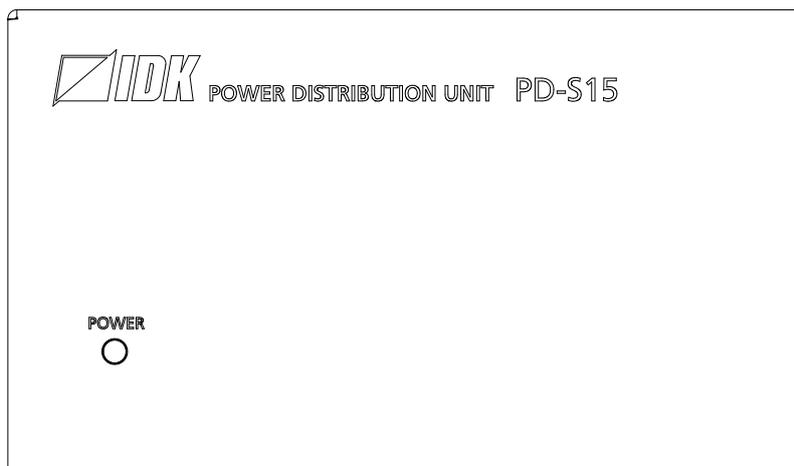


電源分配ユニット

PD-S15

取扱説明書 Ver.2.0.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図などが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

www.idk.co.jp

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

警告

重い製品を持ち上げるときは

 指示	<p>●持ち上げるときは2人以上で作業する</p> <p>製品を持ち上げる時、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。</p> <p>1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。</p>
---	---

設置・接続するときは

 禁止	<p>●不安定な場所に置かない</p> <p>水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p> <p>●振動のある場所に設置するときは固定する</p> <p>振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
---	--



警告

 <p>指示</p>	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●必ずアースに接続する アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●受電/給電機能を使用するときは、各受電/給電規格に適合したケーブルを使用する 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
---	--

お使いのときは

 <p>禁止</p>	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプター・受電/給電用ケーブルは傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工したり、過熱したりしない 引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>●電源プラグのほこりやゴミは拭き取る 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>

もしものときは

 <p>プラグを抜く</p>	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
---	---

注意

設置・接続するときは

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ● ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ● 通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ● 本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ● コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ● 海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ● ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ● ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

お使いのときは

 高温面注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 高温面に触れない 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ● 付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ● お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ● 放熱を妨げない 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。 ● 定期的に清掃する 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。

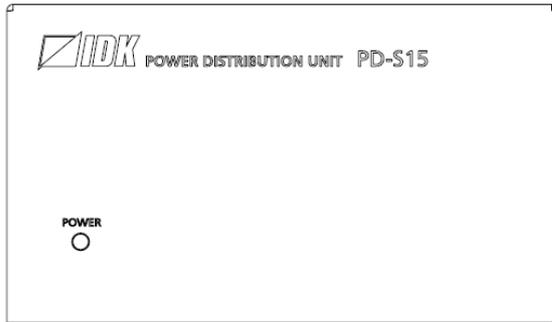
目次

1 同梱物の確認	8
2 製品概要	9
3 特長	9
4 各部の名称とはたらき	10
5 システム構成例	11
6 お使いになる前に	12
6.1 設置前の注意事項	12
6.2 ラック取付方法	12
7 対応機器の接続	14
7.1 対応機器接続前の注意事項	14
7.2 対応機器を接続する	14
7.3 電源コードの接続	15
7.4 過電流保護について	15
8 製品仕様	16

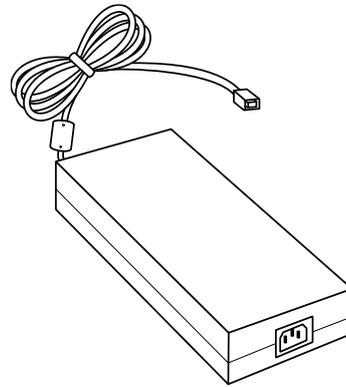
1 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

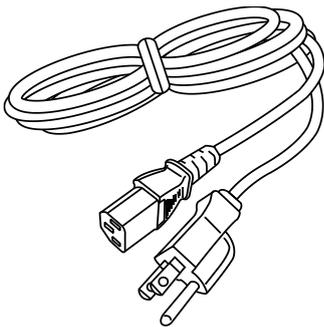
同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。



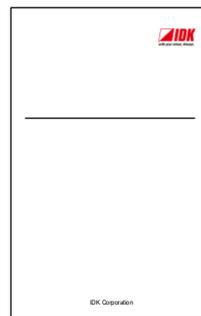
本体 … 1 台



AC アダプタ … 1 個



電源コード (1.8 m) … 1 本

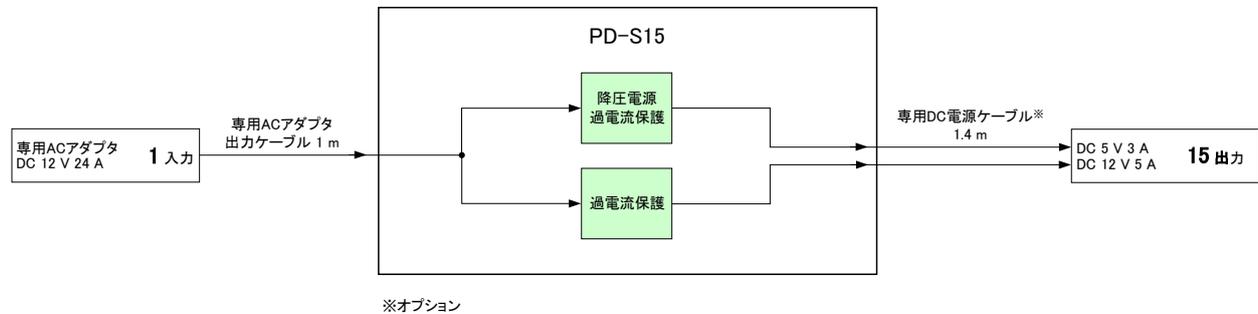


取扱説明書 (本書) … 1 冊

[図 1.1] 同梱物の一覧

2 製品概要

PD-S15 (以下、「本機」とする) は、AC アダプタを使用する弊社製品の専用電源分配ユニットです。出力は DC 5 V と DC 12 V があり、専用の DC 電源ケーブルを使用して、最大 15 系統まで電源を一括供給することができます。



[図 2.1] ブロック図

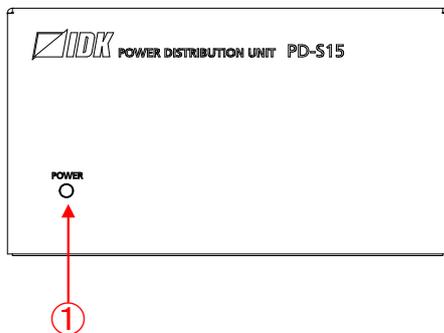
3 特長

以下は、本機の特長です。

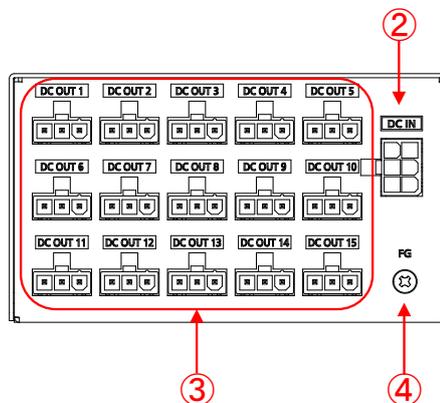
- ・ マルチ電圧 (5 V / 12 V) 供給
- ・ 最大 15 分配
- ・ 過電流保護機能
- ・ RM-SV シリーズに搭載可能

4 各部の名称とはたらき

●フロントパネル



●リアパネル



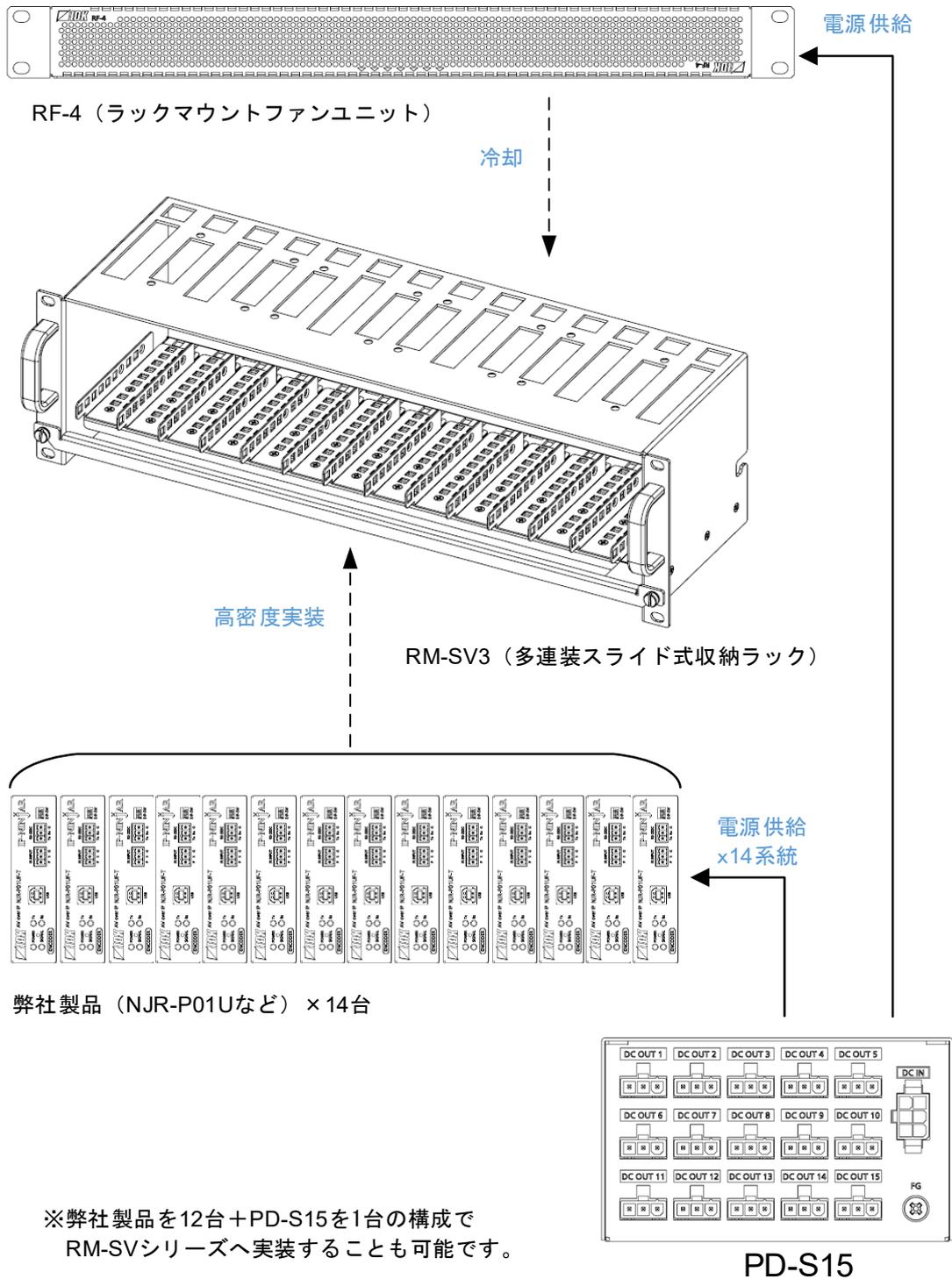
[図 4.1] 外観図

[表 4.1] 各名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	パワーLED	DC 入力コネクタより電源が供給されると、パワーLED が緑色に点灯します。 点灯：電源の供給あり 消灯：電源の供給なし
②	DC 入力コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。
③	DC 出力コネクタ	専用の DC ケーブルを接続し、DC 5 V または DC 12 V による最大 15 系統を出力可能です。系統ごとに出力電流が制限されます。
④	フレームグラウンド	M3 ねじを使用しています。 屋内のアース端子と接続します。

5 システム構成例

次の図は、弊社製品を RM-SV シリーズに高密度実装した場合のシステム構成例です。



※弊社製品を12台+PD-S15を1台の構成で
RM-SVシリーズへ実装することも可能です。

[図 5.1] システム構成例

6 お使いになる前に

6.1 設置前の注意事項

本機を設置するときは次の点にご注意ください。

本体内部の温度が上昇し、部品の寿命や本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあります。

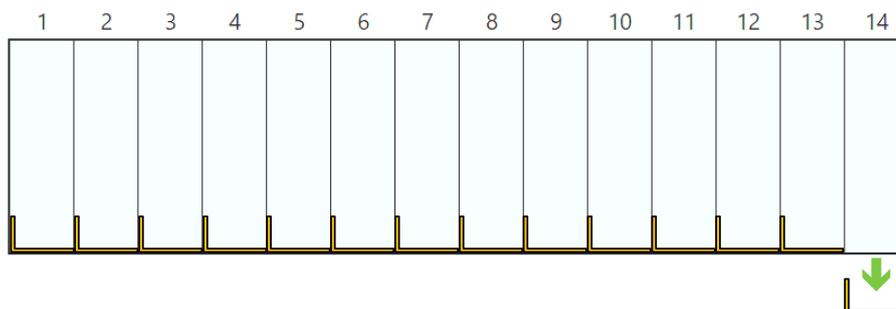
- ・ 本機を積み重ねて使用しないでください。
- ・ 通風孔をふさがないでください。
- ・ 周囲 30 mm 以上の空間を確保してください（ラック取付時を除く）。
- ・ 製品仕様書に記載される使用温度範囲内でご使用ください。

6.2 ラック取付方法

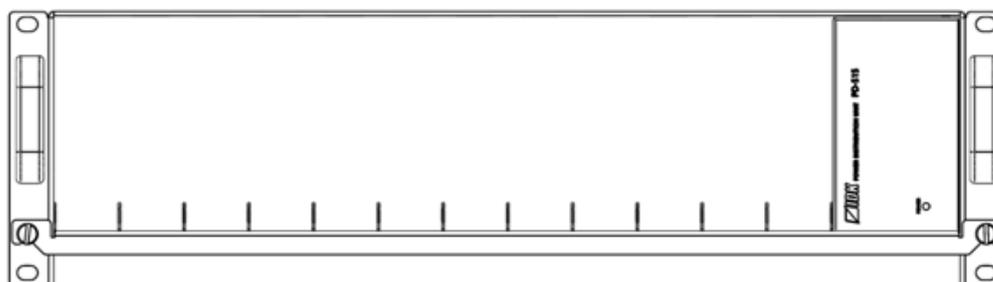
各種 RM シリーズに取付可能です。詳しくは、RM シリーズの取扱説明書をご参照ください。

●RM-SV3 取付概要

スロットNo.14の仕切り金具を取り外します。



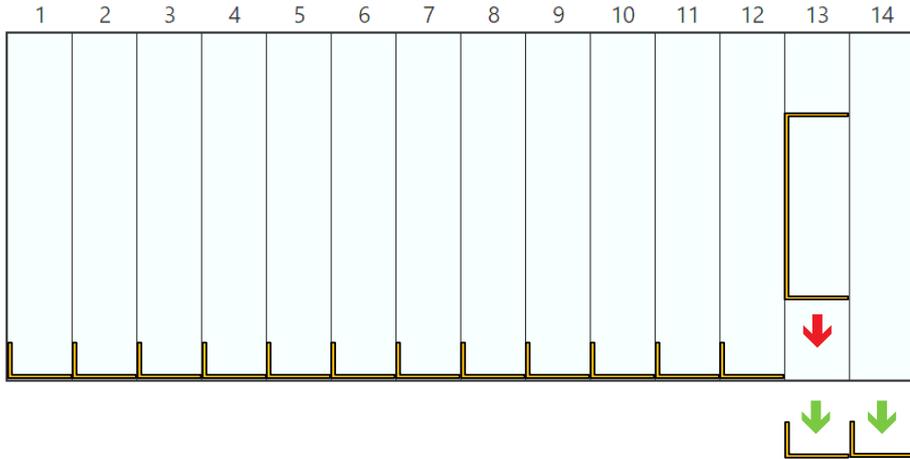
PD-S15に引き出し金具を取り付け、スロットNo.13とNo.14へ搭載します(2スロット分を専有します)。



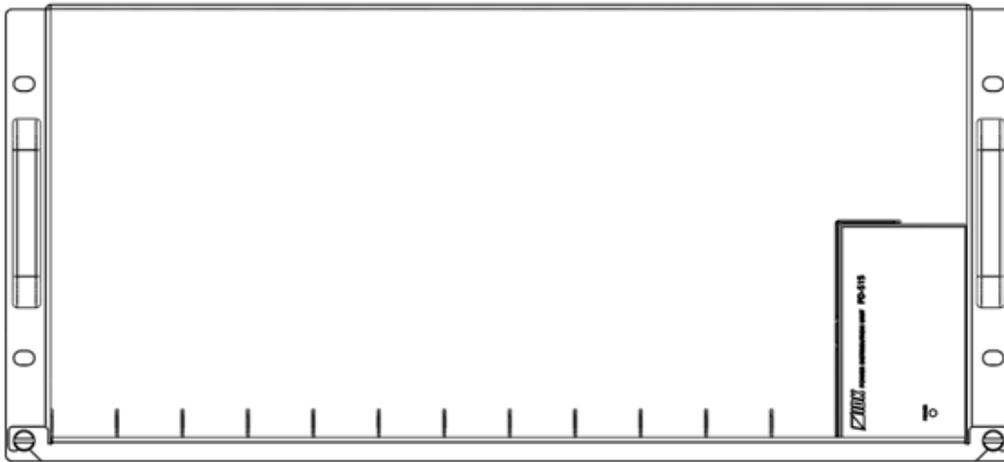
[図 6.1] RM-SV3 取付方法

●RM-SV5 取付概要

スロットNo.13 とNo.14の仕切り金具を取り外し、スロットNo.13にRM-QSPを取り付けます。



PD-S15に引き出し金具を取り付け、スロットNo.13 とNo.14へ搭載します(2スロット分を専有します)。



[図 6.2] RM-SV5 取付方法

●RM-SF 取付概要

RM-SFの底面からねじ留めします。



ラック設置時は、2Uの高さが必要です。

[図 6.3] RM-SF 取付方法

7 対応機器の接続

7.1 対応機器接続前の注意事項

本機を対応機器と接続するときは、次の事項をお守りください。

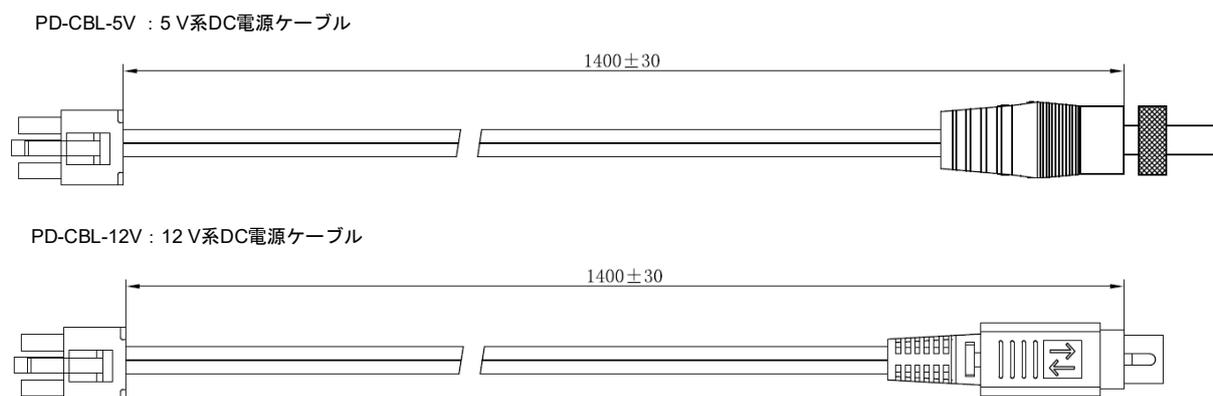
- ・ 対応機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ ケーブルを本機、または対応機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に接地された周辺の金属に触れて、身体の帯電を除去してから作業をしてください。
- ・ 各機器の電源を切った状態で接続をしてください。
- ・ ケーブルはコネクタにしっかりと差し込んでください。
- ・ コネクタにストレスを与えない配線をしてください。
- ・ 対応機器以外の機器は、接続しないでください。
- ・ オプションの DC 電源ケーブル以外のケーブルは、接続しないでください。

7.2 対応機器を接続する

対応機器との接続には、オプションの DC 電源ケーブルが必要です。

本機の DC 出力コネクタは、DC 5V と DC 12V の両方を出力可能です。対応機器に合わせて DC 電源ケーブルを選択してください。

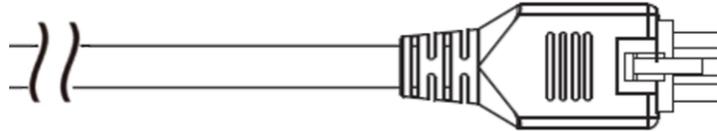
DC 電源ケーブルを本体に取り付けるときは、ケーブルの先端にあるコネクタを“カチッ”と音がするまで確実に差し込んでください。DC 電源ケーブルを取り外すときは、コネクタのフックを緩めた状態で引き抜いてください。



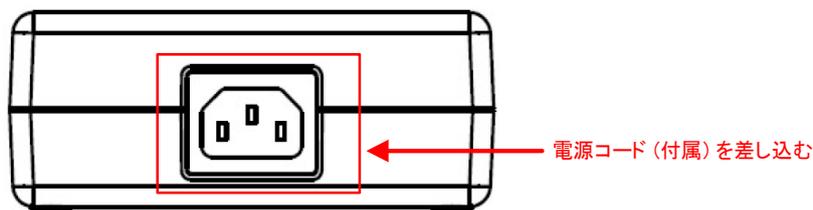
[図 7.2] DC 電源ケーブル

7.3 AC アダプタの接続

AC アダプタの DC 入力コネクタ (Mini-Fit コネクタ) を本体へ “カチッ” と音がするまで確実に差し込んでください。取り外すときは、コネクタのフックを緩めた状態で引き抜いてください。このコネクタは大電流タイプのため引き抜き力が強く設定されています。



付属の電源コードを AC アダプタの電源コネクタに接続します。



[図 7.31] AC アダプタの接続

7.4 過電流保護について

各 DC 出力コネクタは、DC 5 V 3 A を超える電流を検出すると、検出された DC 出力コネクタからの電源供給を一時的に停止します。過電流が解消されると、電源供給は自動復帰します。

さらに、DC 12 V 5 A を超える電流が流れると、内部ヒューズが切れ、その DC 出力コネクタからの電源供給を停止します。電源供給を復帰させるには修理が必要となります。その際は、弊社営業部までお問い合わせください。

AC アダプタは、過電流保護に加え、短絡保護、過電圧保護および過熱保護に対応しています。

異常が発生し、保護機能が働くと、AC アダプタは電源供給を停止した状態を維持します。

電源供給を復帰させるには、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒以上待ってから再接続してください。異常が解消されると、電源供給は復帰します。

8 製品仕様

項目	内容	
DC 出力	15 系統 5 V 3 A または 12 V 5 A (最大 260 W)	
機能	過電流保護	
その他仕様	本体外形寸法	106 (W) × 61 (H) × 150 (D) mm (突起物含まず)
	本体質量	0.8 kg
	AC アダプタ	入力 : AC ~ 100 V - 240 V ± 10 % 、 50 Hz / 60 Hz ± 3 Hz 出力 : DC 12 V 24 A 288.0 W (専用 AC アダプタ付属)
	AC アダプタ 外形寸法	116 (W) × 47 (H) × 254 (D) mm (突起物含まず)
	AC アダプタ 質量	1.6 kg
	消費電力	約 6.5 W
	温度	使用範囲 : 0 °C ~ + 40 °C 保存範囲 : - 20 °C ~ + 80 °C
	湿度	使用範囲 : 20 % ~ 90 % (ただし結露なきこと) 保存範囲 : 20 % ~ 90 % (ただし結露なきこと)
	付属品	電源コード (1.8 m)、AC アダプタ (1 m)
オプション	PD-CBL-5V : 5 V 系 DC 電源ケーブル (1.4 m)、 PD-CBL-12V : 12 V 系 DC 電源ケーブル (1.4 m) ※電源を供給するためには、上記の DC 電源ケーブルが必要です。	

※ AC アダプタ対応製品の消費電力により、電源を供給する製品台数に制限があります。詳細は弊社営業部までお問い合わせください。

※ 付属の AC アダプタは本機専用用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

PD-S15 取扱説明書

Ver.2.0.0

発行日 2025 年 11 月 20 日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

E メールアドレス info@idk.co.jp ホームページ www.idk.co.jp